

あぐりサポートニュース

福島県農業振興公社だより

第 9 号 平成 14 年 1 2 月

発行元 福島市中町 8 番 2 号

財団法人福島県農業振興公社

TEL 024-521-9833 FAX 024-524-2393

“公社保有地の有効利用促進について”

〔県公社農地情報〕

1. 公社の保有地について

公社は、現在一般農地及び開発農用地等を合わせ概ね 175.4 ha を長期的に保有しておりますが、日ごろ皆さまには公社保有地の農地情報を提供する機会が無かったことから、広く一般には承知されない現状にありました。

今般当該農地の一部について情報を公開し、経営規模の拡大農家や新規就農者への提供、集団化や代替え農地などへの利用など、公社保有農用地等を幅広く有効利用していただく観点から「県公社農地情報」として提供するものです。

2. 情報提供農地

集団化した開発農地

大戸地区(会津若松市上三寄)

位置 国道 118 号沿い、会津鉄道芦の牧温泉駅より北へ約 3 km、馬越やな場近く
会津若松駅へ 20 分程度、会津高田町、会津本郷町へも至近
下郷町、田島町方面へも利便

現状 開発農地、畑 12 区画 11.8 ha、土づくり必要、団地化している
水利は各区画へパイプライン設置、飲料水手当必要

用途 大・中規模樹園地向き、農園レストラン等

(りんご・梅・梨・柿・牧草地・花卉・景観作物、蔬菜等)

一部取得可、その他の利用計画はご相談下さい。

譲渡 市の土地利用計画等との整合性必要、有償譲渡(価格にご相談下さい。)

磯部地区(相馬市磯部)

位置 国道 6 号日立木交差点から太平洋岸へ向け約 4 km、相馬市役所へ約 15 分
当該農地から海辺へ約 5 分、景観良好、周辺は水田及び梨団地

現状 開発農地、水田 30 a 区画、2.5 ha、団地化している

用途 中規模稲作経営向き、一部取得可、その他の利用計画はご相談下さい。

譲渡 農地法等との整合性必要、有償譲渡(価格にご相談下さい。)

(必要に応じ現地案内を致します)

* 当該農地についてのお問い合わせは農地調整課企画管理班へお願い致します。

TEL 024-521-9846

Eメール sase@fnk.or.jp

農地調整課

平成14年度福島県農業経営基盤強化促進検討会が開催されました。

平成14年11月25日に郡山市のハイテクプラザにおいて、平成14年度福島県農業経営基盤強化促進検討会が、福島県の主催並びに当社の共催により開催されました。

検討会には県内各市町村、農業委員会、農業協同組合、県農林事務所の職員150名が参集し検討がなされました。

福島県農林水産部農業経営指導課の甲斐主任主査兼係長の開会、司会進行により進められ永石参事兼課長があいさつ及び、現在の米政策の状況について報告されました。

検討内容としては、農業経営指導課の太田主査より本県農業の現状と課題について、

福島県の農地流動化の現状・認定農業者支援・合理化事業の積極的活用について説明がありました。

次に当公社佐瀬審査役及び穴戸主査から公社事業を活用した効果的利用集積の促進について、農業経営基盤強化促進法における農地保有合理化促進事業の位置付け、合理化事業の具体的実施方法について説明しました。

また、片平参事兼農地調整課長が資料及びパソコン映像により、公社を活用し農地の利用集積が図られた県内の11地区について、手法・効果・苦労談等を紹介し各参集機関での取り組みを促しました。



総務課

当社の業務活動範囲は、県内全域を対象としているため、社用車による移動が日常的になっていますから、常に役職員は安全運転に心掛けています。

本年度も役職員はもちろんのこと、家族の方々にも交通事故防止に対する意識の高揚を図るため、平成14年交通事故防止コンクール（平成14年7月1日～9月30日の3ヶ月）に参加しましたが、期間中無事故だったため、2者連名（福島県福島警察署長・福島地区安全運転管理者協会長）の表彰状を頂きました。

これを機に、更に交通事故防止活動を積極的に推進していきたいと考えています。

育成センター

国分俊江さん（安達地方農業後継者クラブD "ATCH"）全国大会へ！

～ 第33回東北農村青年会議山形大会から～

平成14年11月12日（火）～14日（木）の3日間、山形県天童市を会場に、第33回東北農村青年会議が開催されました。

この会議には、本県から、当育成センターが派遣したプロジェクト発表会等の県代表2名を含む青年農業者17名が参加しました。

本県代表の国分俊江さんが優秀賞（全国農村青少年教育振興会長賞）を受賞し、来年2月に東京で開催される全国青年農業者会議に、東北代表として発表することになりました。

なお、本県代表として発表した2名は、以下のとおりです。

- ・ プロジェクト発表 国分俊江さん（安達地方農業後継者クラブD "ATCH"）
- ・ 意見発表 丹野友幸さん（福島市農業後継者連絡協議会）



（受賞した国分俊江さんと本県からの参加者）

農業青年クラブ員の交流の輪広がる

～ アクティブステ - ジ 2002 in 安積野～



（講師の話に耳を傾ける参加者）

平成14年11月23日（土）～24日（日）の2日間、郡山市の「ホテル バ - デン」を中心とした会場で、「アクティブステ - ジ 2002 in 安積野」を開催しました。

この「アクティブステ - ジ」は、農業青年等の交流を目的に当育成センターと県農業青年クラブ連絡協議会の共催で、県内4方部持ち回りで毎年開催しています。

今年は、総勢82名が参加し、スポ - ツ・農産物加工体験で交流を深めました。

公社利用者の声

会津高田町 横山 正治



私の公社との出会いは、平成8年会津高田町農業委員に就任したことに遡る。

農業委員になったのだから、町の農地を守り規模拡大を図りながら安定的な経営を行うべく町のあっせん事業により農地の取得を行いました。（この時旧リース事業により農機具をリースすることも検討したが該当にならなかった。）

月日が流れ農業情勢が厳しさを増し後継者の問題などから規模拡大の意欲も減退し現状維持思考に少しずつ傾いていたと思います。そんな中、娘の結婚をきっかけに婿が今までの勤めを辞めて農業に取り組むことになり、後継者も出来たことからもう一度がんばってみようと思い始めたころ、



（導入された6条刈りコンバイン）

近隣の認定農業者が公社のリース事業でコンバインを導入したことを知り、我が家の農業も労働力が増えた分規模拡大が十分可能であり、高性能農業機械を公社のリース事業により取得すれば通常の取得費用の半分の価格で希望する農業機械が導入可能となると考え町農業委員会に相談しました。

町農業委員会のあっせん事業により農地取得と貸借により規模拡大し、公社のリース事業によりコンバイン6条刈りを導入してもらいました。

今後も水稻直播を推進しコストの軽減と土地の集約等経営規模を拡大し新技術の導入を積極的に行い安定したゆとりのある農業を行いたいと考えております。



（左：横山氏、 右：町農業委員会渋川係長）

編集後記

ワールドカップサッカー - の日韓両国開催で、非常に盛り上がった平成14年も、まもなく閉じようとしています。今年を振り返って見ると、出口の見えない経済不況、政治不信の増大、農畜産物の産地偽装等、社会不安が広がった1年であったような気がします。

来る平成15年は、国内の経済情勢が少しでも回復し、明るい兆しが見える年になればと心から願っています。

K . K

問い合わせ

あて先 〒 960-8681
福島県福島市中町8番2号
財団法人福島県農業振興公社 総務課
TEL 024(521)9834 FAX 024(524)2393
みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

この広報誌は、再生紙を利用しております。

「あなたを、守る シートベルト 忘れないでね」